

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係る セルフチェックシート

団 体 名	長岡市空道協会
-------	---------

※「対応状況」欄の自己評価
A：対応している
B：一部対応している
C：対応できていない

項 目	対応状況
原則1 法令等に基づき、適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
上部団体の（社）全日本空道連盟は、法人番号を持っているが配下団体である大道塾長岡支部は、法人番号は持っていない。	
(2) 法人格を有していない団体は、団体の実態を備え、団体の規約等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
団体設立目的、使命を明記した規約があり、この会の役員により多数決により事業計画を決定し運営されている。団体の運営状況については長岡市スポーツ協会加盟団体規定に基づいて、毎年、長岡市スポーツ協会に報告している。団体の財産管理は団体専用口座を用い管理されている。	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
各事業の実施にあたっては、長岡市スポーツ推進条例、長岡市体育館等各施設条例、長岡市スポーツ協会定款・規約等を遵守している。 選手や保護者から個人情報を取得する場合には、個人情報保護法等関係法令の遵守をしている。	

項 目	対応状況
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
規約により総会において理事、監事を選任しているほか、年度毎計算書類及び事業報告については監査を実施したうえで、総会において承認手続きをおこなっている。	
原則2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し、公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し、公表しているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
規約のなかで組織の活動目的を明確にし、毎年年度開始付近日に事業計画を策定し、役員会総会で承認手続きを行っている。	
原則3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
団体代表は、2024年3月のコンプライアンス研修会に参加したので、役員には同じ資料を渡し、簡単な説明はしてある。	
(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
団体代表は、2024年3月のコンプライアンス研修会に参加したので、指導者には同じ資料を渡し、簡単な説明はしてある。	
原則4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務、経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
経理の処理を適切に行っている。	

項 目	対応状況
(2) 公的補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
公的補助金については適切に処理をしている。	
(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
会計処理を公正かつ適切に行っている。	
原則5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
年に2回事業報告、事業計画を会計の報告をしている。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
年に2回事業報告、事業計画を会計の報告をしている。	
原則6 高いレベルのガバナンスの確保が求められていると自ら判断する場合、ガバナンスコードの個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。	
(1) 自ら適用することが必要と考えるガバナンスコードの規定があるか。	C
原則●について	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
規定は、現在ない。本年中に改善したい。	